

# 2021年度第2四半期決算説明資料

2021年10月29日

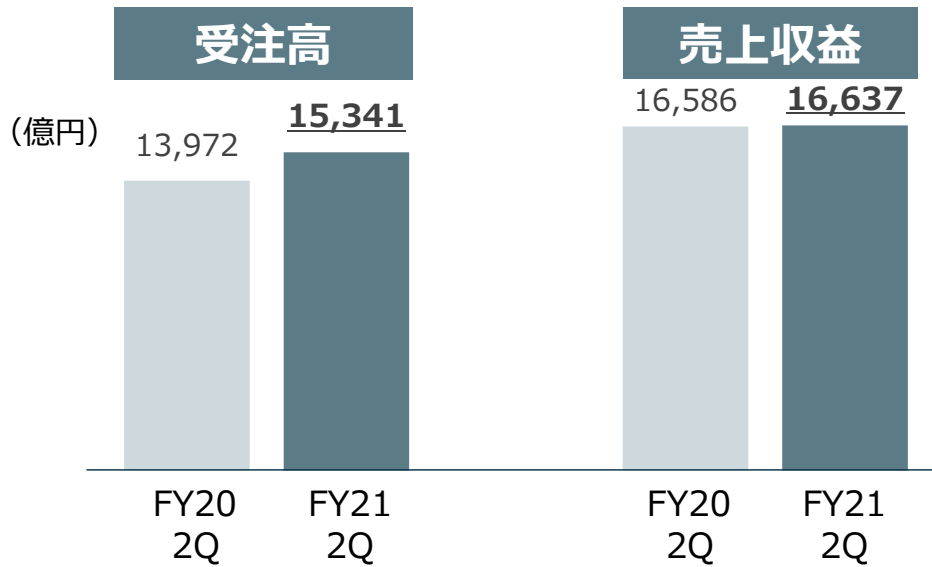
## I. 2021年度第2四半期決算実績

- 連結経営成績サマリー 4
- 連結財政状態 6
- キャッシュ・フロー 8
- セグメント情報 9-12  
(受注高・受注残高/売上収益/事業利益)
- 事業利益増減分析 13
- コロナ影響を受けた主な事業の現況 14
- 第2四半期決算の総括 15

## II. 2021年度業績見通し 17-18

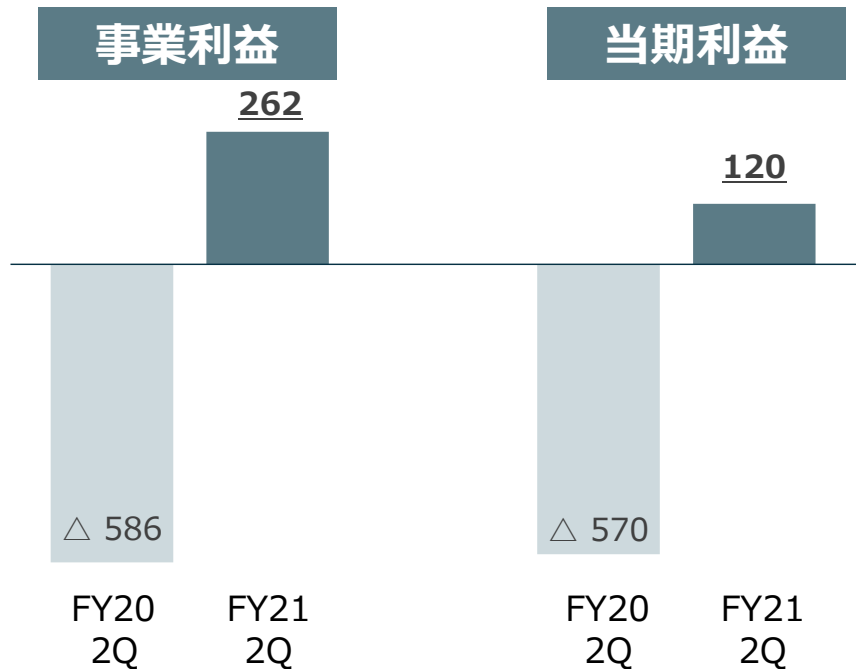
## III. 補足資料 20-25

# I . 2021年度第2四半期決算実績



## ■ 受注高

- プラント・インフラ（製鉄機械等）及び物流・冷熱・ドライブシステム（中量産品事業）の受注が増加
- エナジーは、昨年度にGTCCで大型案件受注があったことによる反動減
- 民間航空機Tier1の受注は低位継続



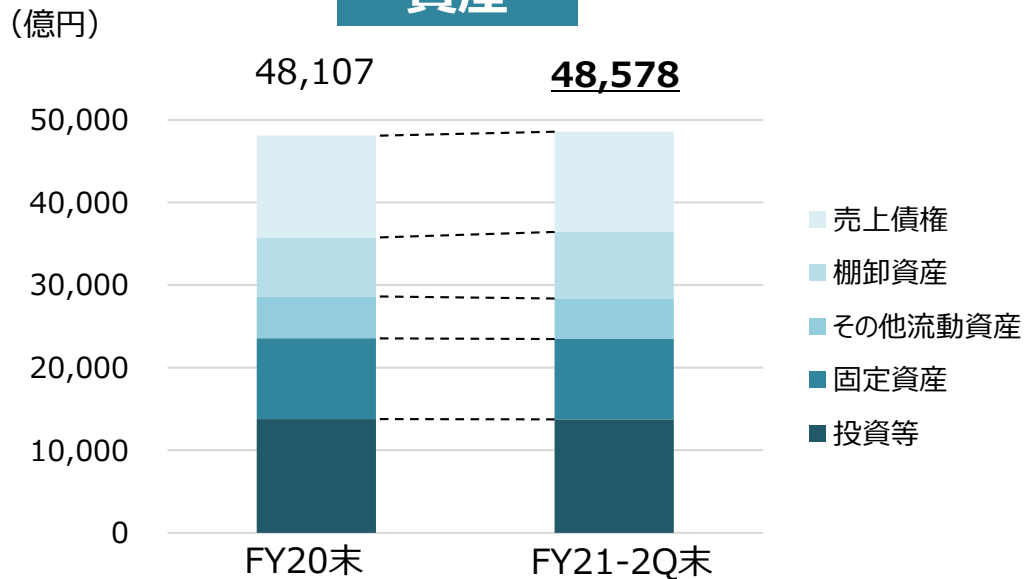
## ■ 売上収益、利益

- 航空・防衛・宇宙以外の3セグメントは増収
- 4セグメント全て増益・黒字化

(億円)

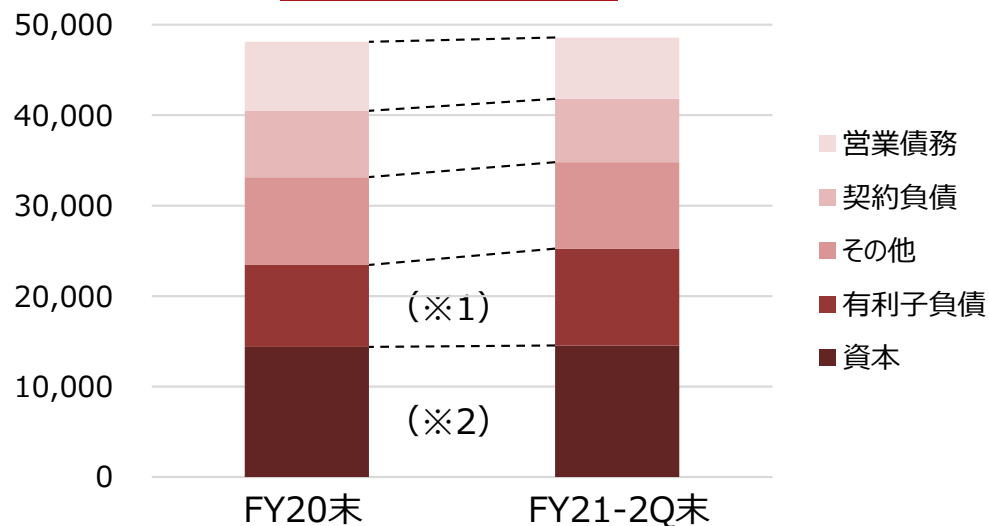
	2020年度2Q		2021年度2Q		増減	
	(利益率)		(利益率)		(増減率)	
受注高		13,972		15,341	+1,369	(+9.8%)
売上収益		16,586		16,637	+51	(+0.3%)
事業利益	(△3.5%)	△586	(1.6%)	262	+848	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(△3.4%)	△570	(0.7%)	120	+691	-
EBITDA	(0.6%)	104	(5.4%)	909	+805	-
フリーCF		△4,971		△1,380	+3,590	-

## 資産



- 総資産は前年度末から471億円増加
- 主な要因は現預金及び棚卸資産の増加

## 負債・資本



	FY20末	FY21-2Q末	増減
有利子負債残高 (億円)	9,056	10,713	+1,657
自己資本比率	28.4%	28.3%	△0.1pt
D/Eレシオ	0.63	0.74	+0.11

主な内訳 (億円)

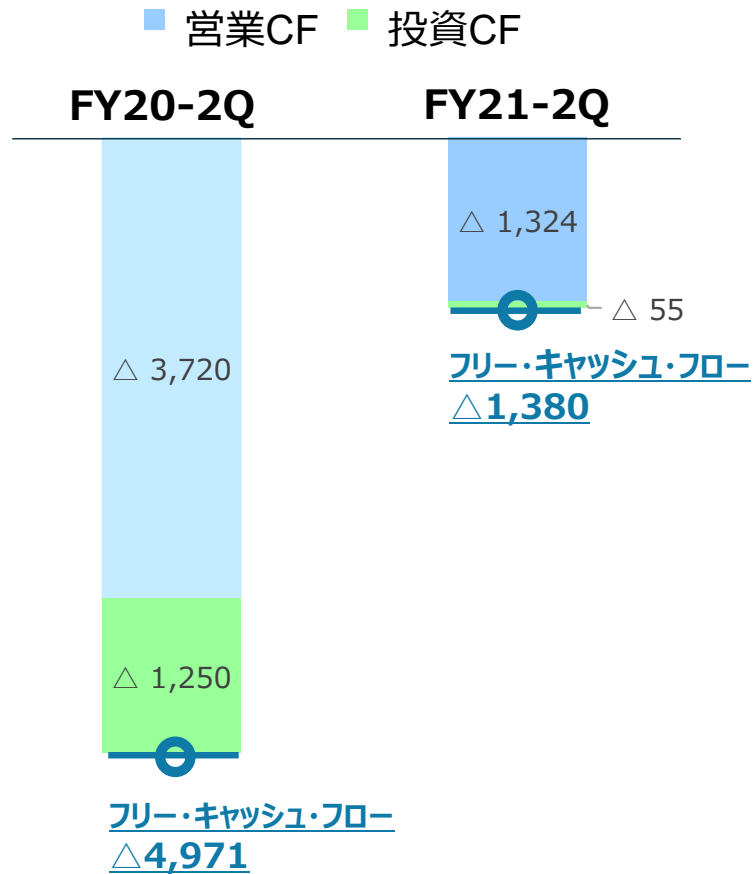
(※1) CP+1,530

(※2) 当期利益+120、配当△252

(億円)

	FY20末	FY21-2Q末	増減
売上債権（営業債権、契約資産）	12,341	12,141	△199
棚卸資産	7,134	8,067	+932
その他流動資産	5,070	4,887	△183
（現金及び現金同等物）	(2,454)	(2,596)	(+141)
固定資産	9,789	9,751	△38
投資等	13,771	13,731	△39
資産合計	48,107	48,578	+471
営業債務	7,637	6,768	△868
契約負債	7,318	7,006	△311
その他	9,701	9,553	△148
有利子負債	9,056	10,713	+1,657
資本	14,393	14,536	+142
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(13,663)	(13,770)	(+107)
負債・資本合計	48,107	48,578	+471

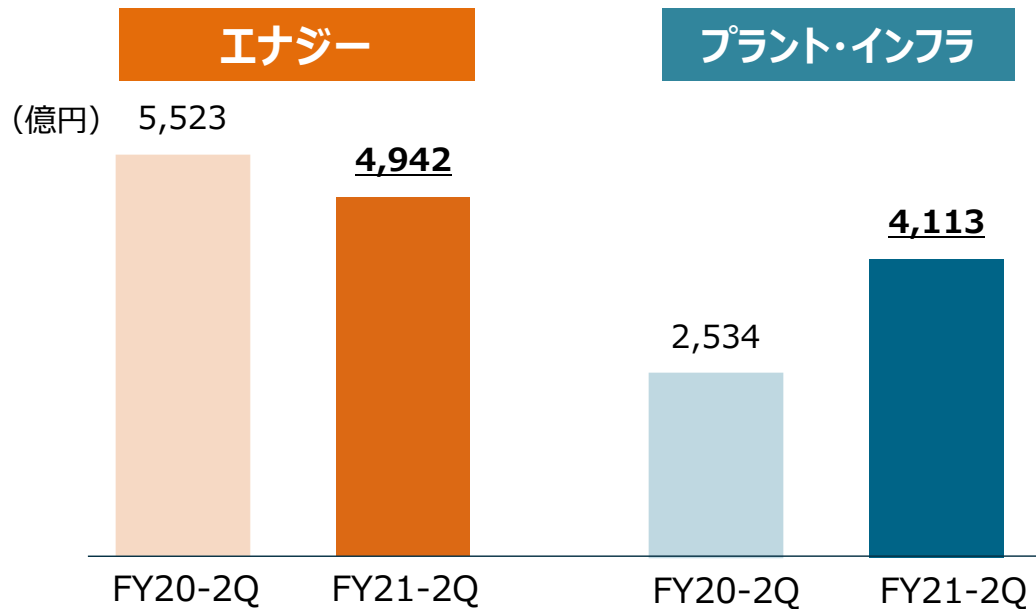
(億円)



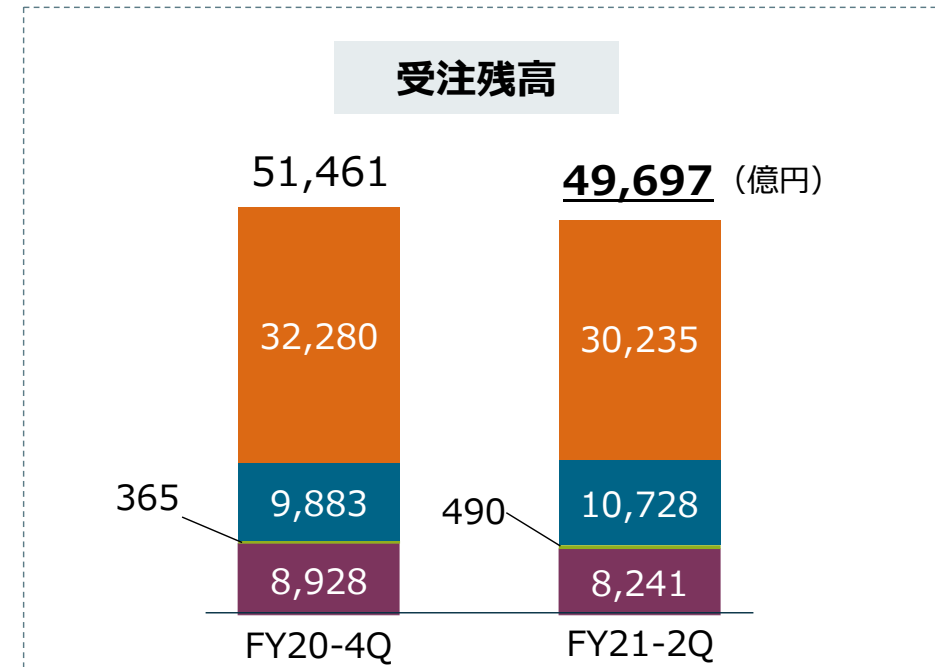
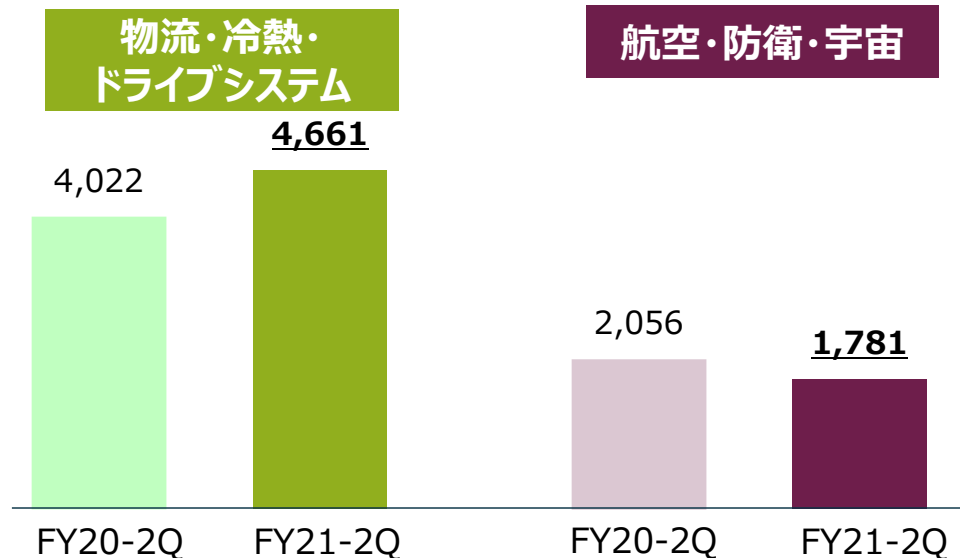
- フリー・キャッシュ・フロー  
通期見通し（±0）に向け計画通りに推移
- 営業キャッシュ・フロー  
計画通りに推移
- 投資キャッシュ・フロー  
アセットマネジメント（不動産及び株式の売却）による投資資金創出は前倒しで進捗



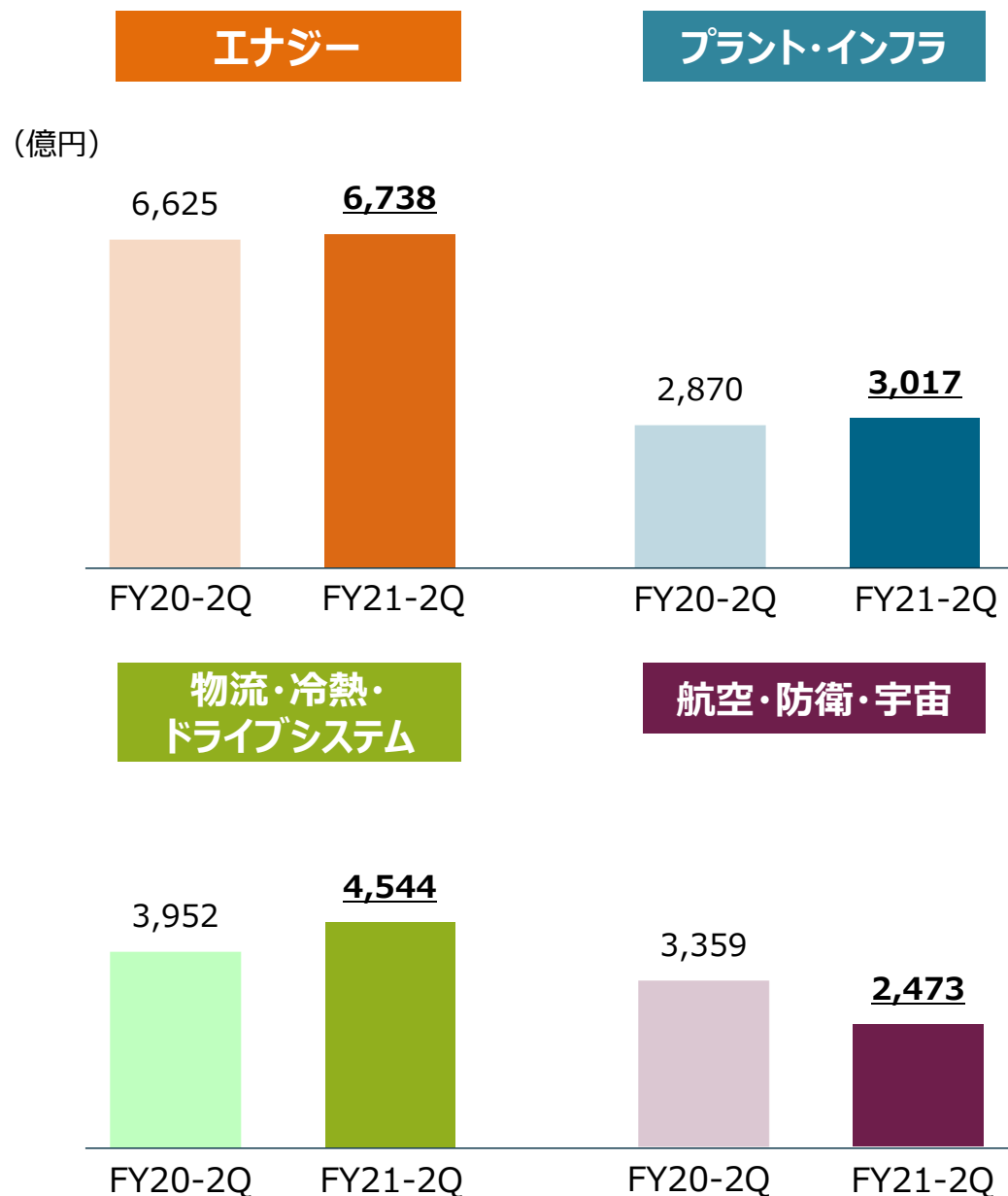
# セグメント別 受注高・受注残高



- エナジー  
 増加：スチームパワー 減少：GTCC、原子力
- プラント・インフラ  
 増加：製鉄機械、機械システム  
 減少：エンジニアリング
- 物流・冷熱・ドライブシステム  
 増加：物流機器、冷熱、ターボチャージャ
- 航空・防衛・宇宙  
 増加：CRJ 減少：民間航空機

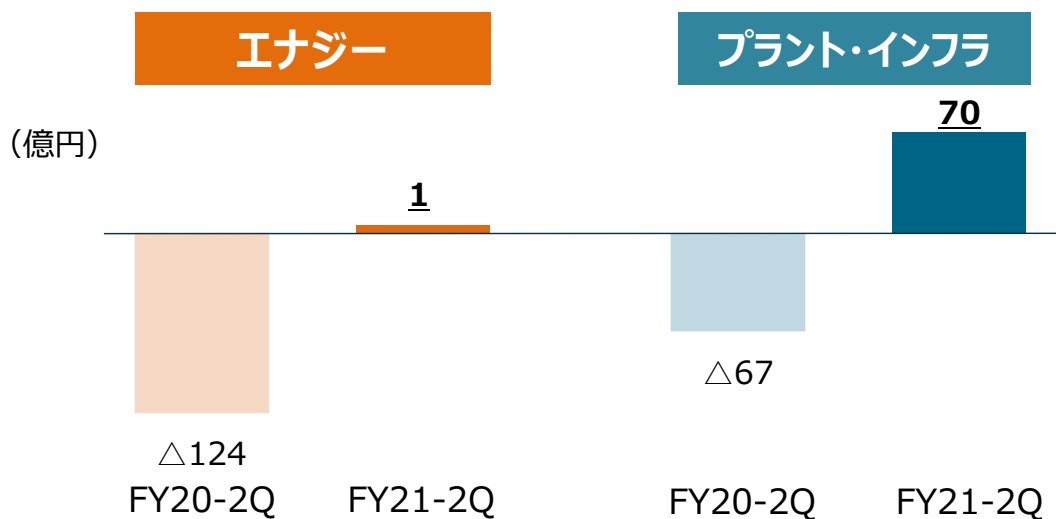


# セグメント別 売上収益

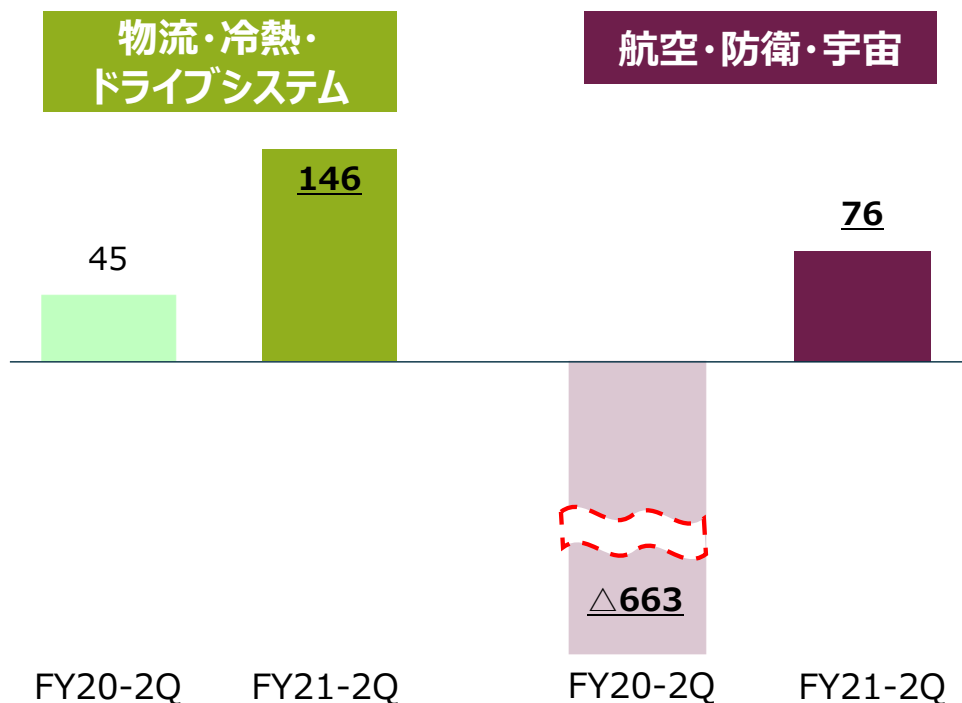


- エネルギー  
増収：GTCC  
減収：スチームパワー、原子力
- プラント・インフラ  
増収：製鉄機械
- 物流・冷熱・ドライブシステム  
増収：物流機器、冷熱、ターボチャージャ
- 航空・防衛・宇宙  
減収：防衛航空機・飛昇体、宇宙、民間航空機

# セグメント別 事業利益



- エナジー  
増益：GTCC（増収）
- プラント・インフラ  
増益：製鉄機械（増収）
- 物流・冷熱・ドライブシステム  
増益：物流機器、ターボチャージャ（増収）
- 航空・防衛・宇宙  
増益：SpaceJet関連費用の大幅削減  
減益：防衛航空機・飛昇体、宇宙、民間航空機（減収）

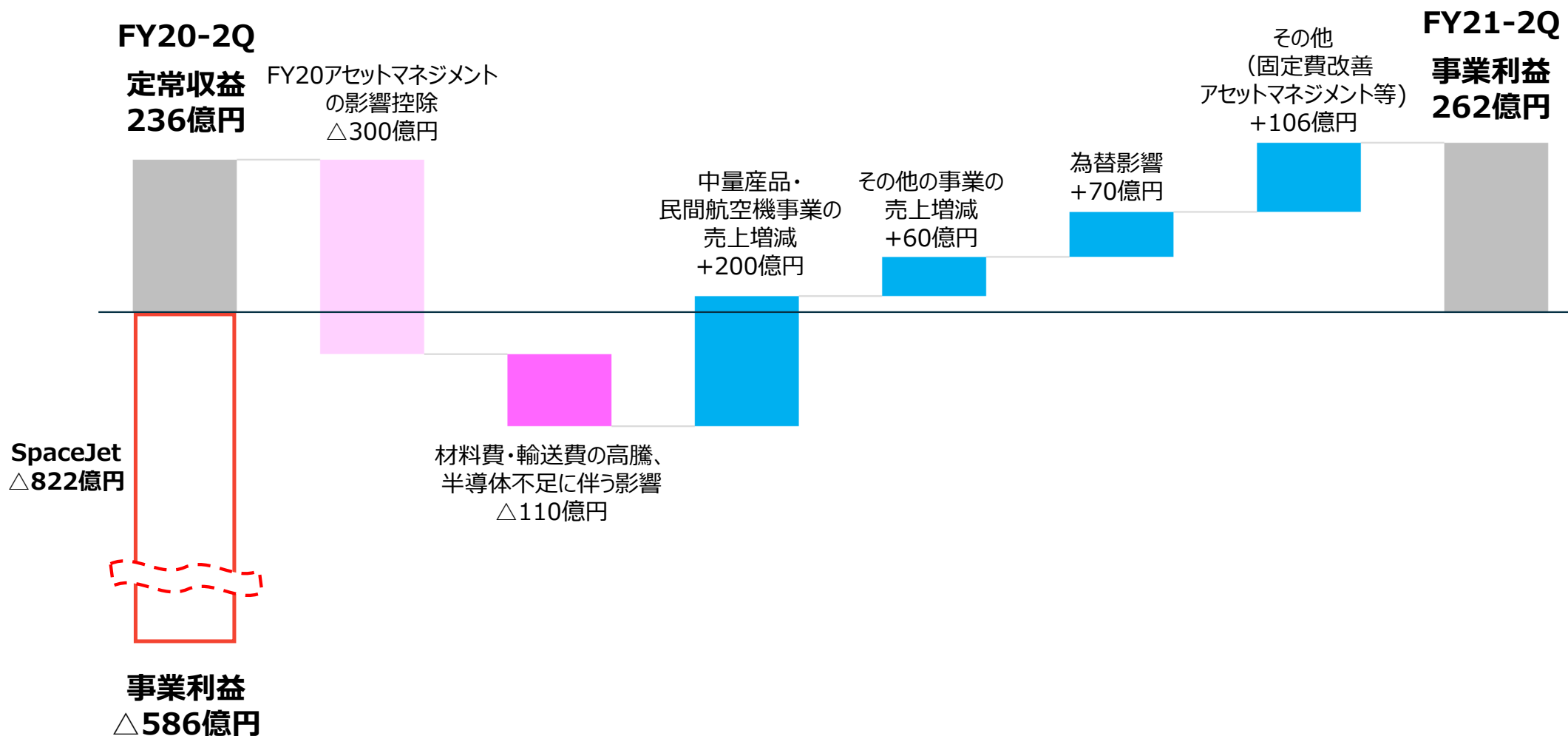


# 2021年度第2四半期決算実績 セグメント別内訳

(億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY20 2Q	FY21 2Q	増減	FY20 2Q	FY21 2Q	増減	FY20 2Q	FY21 2Q	増減
エネルギー	5,523	4,942	△581	6,625	6,738	+112	△124	1	+125
プラント・インフラ	2,534	4,113	+1,579	2,870	3,017	+146	△67	70	+137
物流・冷熱・ ドライブシステム	4,022	4,661	+638	3,952	4,544	+592	45	146	+100
航空・防衛・宇宙	2,056	1,781	△275	3,359	2,473	△885	△663	76	+739
その他	△164	△157	+7	△221	△136	+84	222	△33	△255
合計	13,972	15,341	+1,369	16,586	16,637	+51	△586	262	+848

- 前年度のアセットマネジメントによる増益効果の剥落に加え、材料費・輸送費の高騰や半導体不足に伴う減益影響があったものの、コロナ影響を受けた事業の回復や、固定費改善等の施策により、前年度定常収益を上回る事業利益を確保

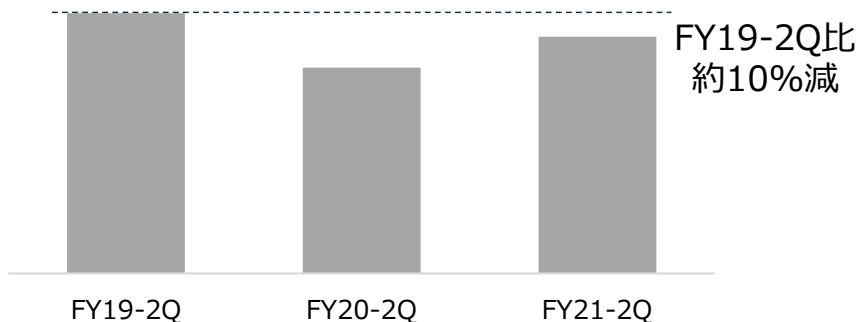


## 事業

## 売上実績

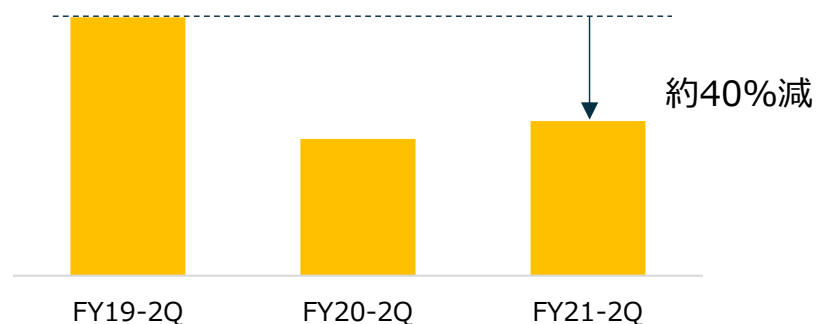
## FY21-2Q末の状況

### 中量産品



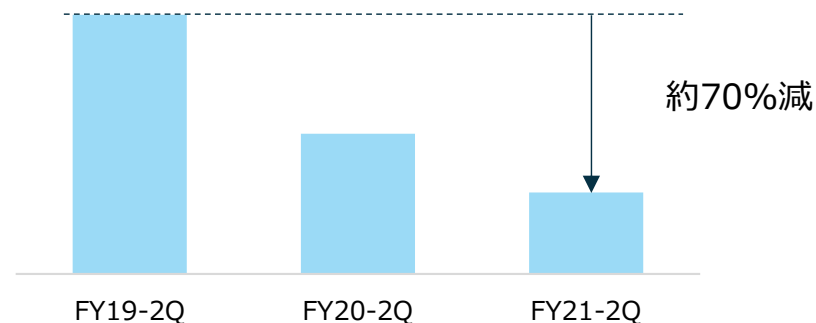
- 売上収益は一昨年（コロナ前）に近いレベルまで回復。

### 民間航空機 航空エンジン



- FY21-1Qに見られた感染再拡大や売上（MRO）の一部期ずれ等による影響は改善傾向。

### 民間航空機 構造Tier1



- 国内線旅客需要は米中欧で回復傾向にあるが、国際線旅客需要の回復には時間を要する。
- B787減産の影響あり。

## ■ 受注

民間航空機等で市況の厳しさは残るものの、製鉄機械を中心に回復基調。

## ■ 売上収益、利益

- ・ 全セグメントで前年同期比増益。
- ・ 材料費・輸送費高騰や半導体不足の影響があるものの、下期の売上進捗予想等を踏まえ、事業セグメントの通期業績見通し達成を見込む。
- ・ アセットマネジメント効果の上振れにより、全社の通期事業利益及び当期利益見通しをそれぞれ100億円上方修正。

## ■ キャッシュ・フロー

アセットマネジメント（不動産及び株式の売却）による流動化を推進し、エナジートランジション領域への成長投資を加速。

## Ⅱ. 2021年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

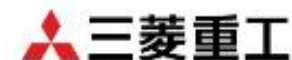
従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。



# 2021年度業績見通し サマリー



期首公表値 (2021年5月10日) から一部見直し

(億円)

	2020年度実績		2021年度見通し		対前年度増減		
	(利益率)		(利益率)	今回見通し	期首公表値	(増減率)	
受注高		33,363		36,000	36,000	+2,637	(+7.9%)
売上収益		36,999		37,500	37,500	+501	(+1.4%)
事業利益	(1.5%)	540	(4.3%)	1,600	1,500	+1,060	(+196.3%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(1.1%)	406	(2.7%)	1,000	900	+594	(+146.3%)

ROE		3.1%		7.1%	6.5%	+4.0pt	-
EBITDA	(5.2%)	1,933	(7.7%)	2,900	2,800	+967	(+50.0%)

フリーCF		△2,771		0	0	+2,771	-
-------	--	--------	--	---	---	--------	---

配当		75円		90円	90円	【前提為替レート】 1ドル = 110 円 1ユーロ = 130 円	【未確定外貨】 29億ドル 3億ユーロ
		(中間0円/期末75円)		(中間45円/期末45円)			

# 2021年度業績見通し セグメント別内訳

期首公表値（2021年5月10日）から一部見直し  
 （アセットマネジメント効果の上振れにより、その他セグメントの事業利益を100億円上方修正）

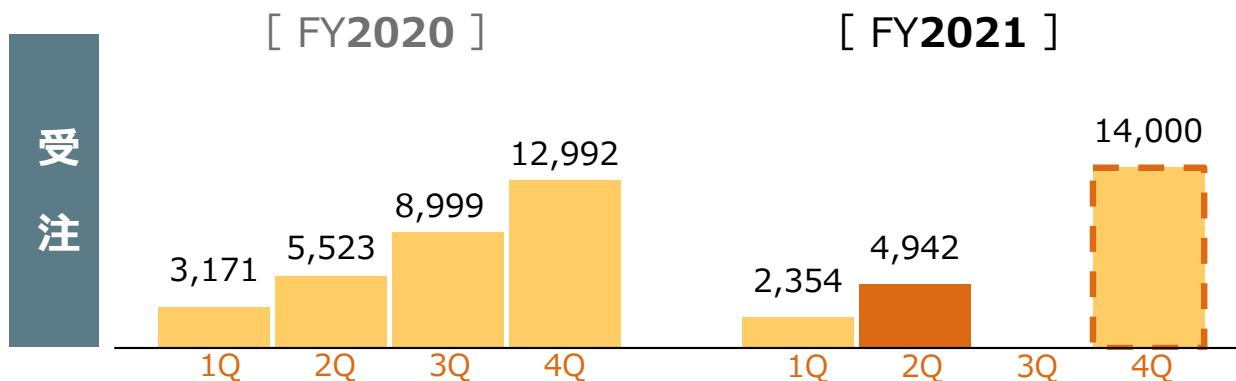
（億円）

	受注高				売上収益				事業利益			
	FY20 実績	'21年度見通し		対前年度 増減	FY20 実績	'21年度見通し		対前年度 増減	FY20 実績	'21年度見通し		対前年度 増減
		今回 見通し	期首 公表値			今回 見通し	期首 公表値			今回 見通し	期首 公表値	
エネルギー	12,992	14,000	14,000	+1,008	15,460	16,000	16,000	+540	1,276	1,000	1,000	△276
プラント・インフラ	5,752	7,000	7,000	+1,248	6,372	6,500	6,500	+128	△102	200	200	+302
物流・冷熱・ ドライブシステム	8,680	9,500	9,500	+820	8,603	9,500	9,500	+897	156	300	300	+144
航空・防衛・宇宙	6,262	6,000	6,000	△262	7,021	6,000	6,000	△1,021	△948	200	200	+1,148
その他	△324	△500	△500	△176	△457	△500	△500	△43	158	△100	△200	△258
合計	33,363	36,000	36,000	+2,637	36,999	37,500	37,500	+501	540	1,600	1,500	+1060

## Ⅲ. 補足資料

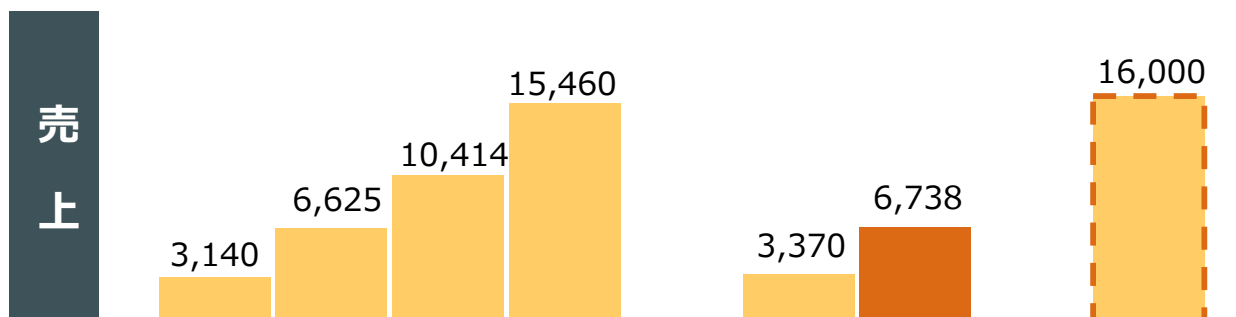
# 補足資料 第2四半期決算実績〈エナジー〉

(億円・各期の数値は累計)



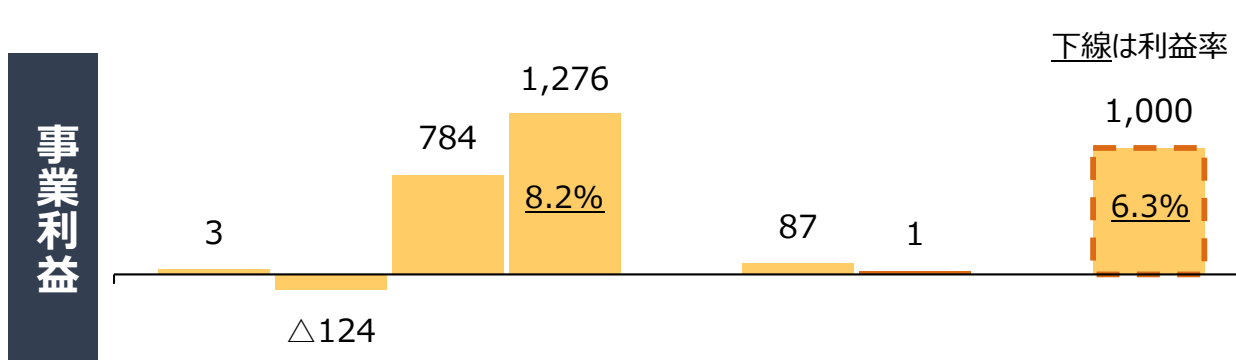
(主な事業の受注)

	FY20-2Q	FY21-2Q
GTCC	2,500	1,894
スチームパワー	907	1,437
航空エンジン	252	236
原子力	1,116	804



(主な事業の売上)

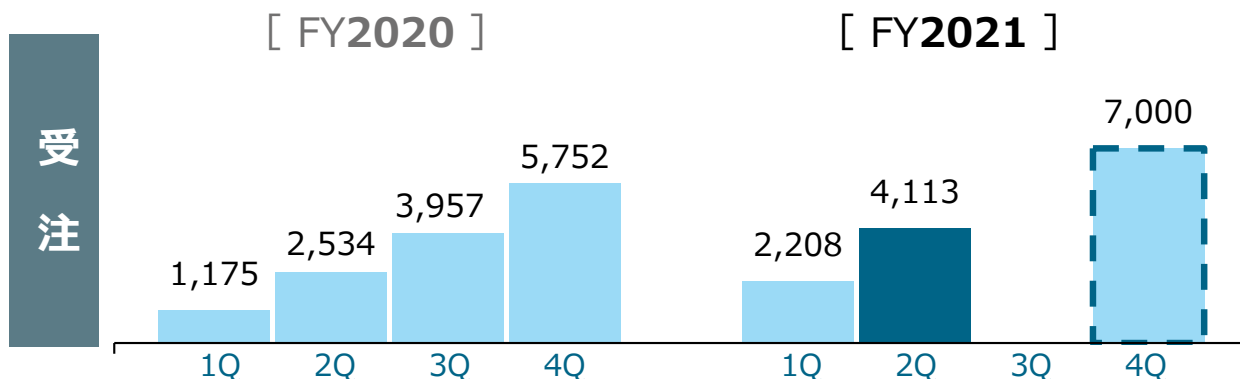
	FY20-2Q	FY21-2Q
GTCC	2,148	2,545
スチームパワー	2,504	2,328
航空エンジン	231	262
原子力	944	802



- スチームパワーの受注は、バイオマス発電所新設案件が寄与し、前年同期比増加。
- セグメント全体の事業利益は、IGCC（勿来、広野）の不適合発生などにより低調。
- 火力のアフターサービスや原子力を中心に、下期に売上が集中する計画であり、通期の利益目標は達成を見込む。

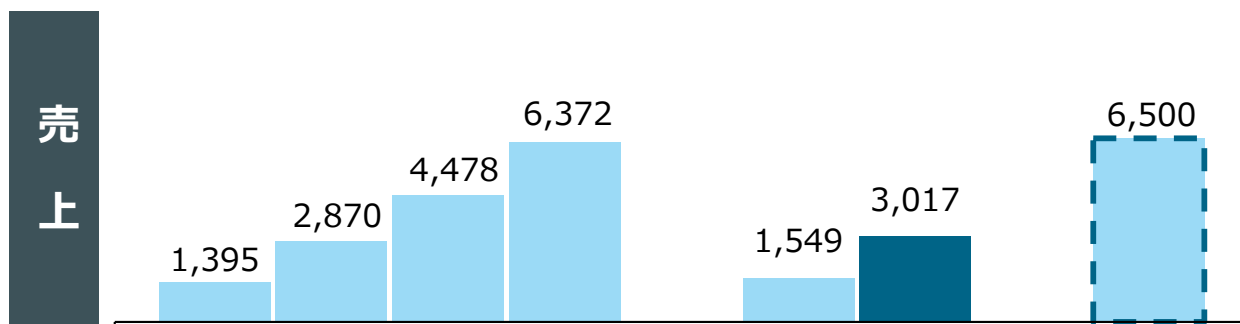
# 補足資料 第2四半期決算実績〈プラント・インフラ〉

(億円・各期の数値は累計)



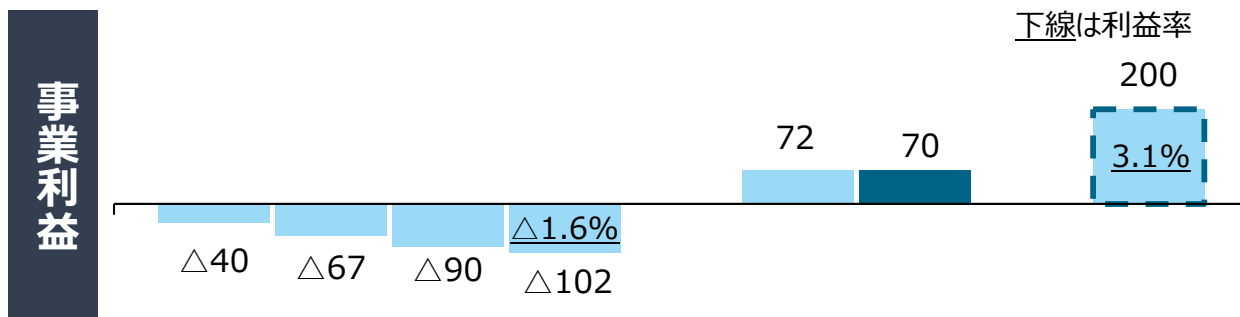
(主な事業の受注)

	FY20-2Q	FY21-2Q
エンジニアリング	867	568
製鉄機械	535	1,850
機械システム	561	804



(主な事業の売上)

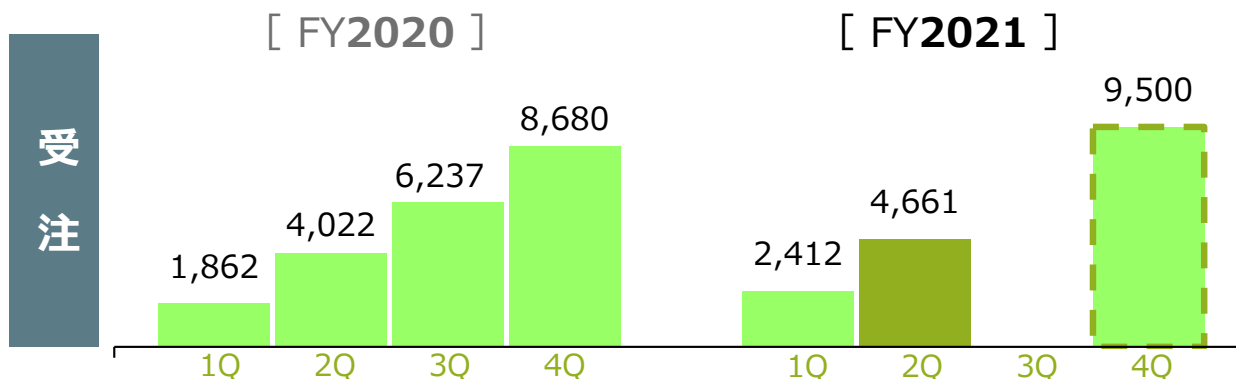
	FY20-2Q	FY21-2Q
エンジニアリング	701	662
製鉄機械	917	1,077
機械システム	621	609



- 製鉄機械の受注は、世界的なコロナ影響からの回復に伴う鉄鋼需要増大などを背景に好調。
- 海外の一部工事の追加費用や拠点統廃合に伴う損失により、2Qの事業利益を押し下げ。

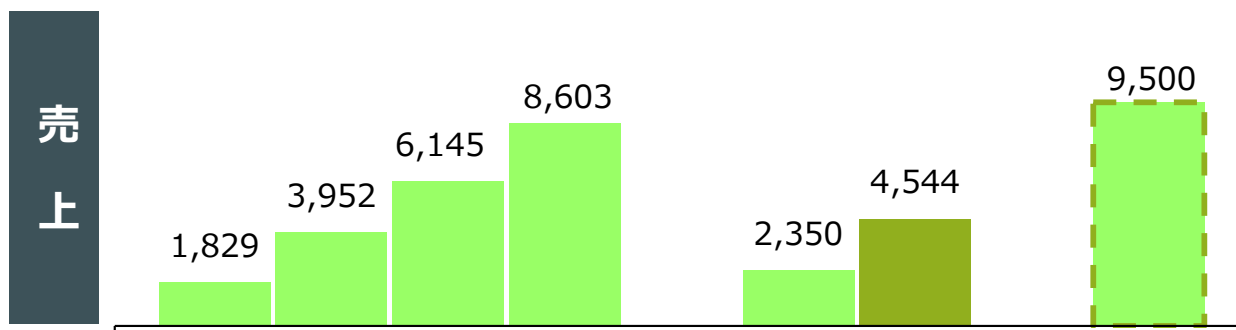
# 補足資料 第2四半期決算実績〈物流・冷熱・ドライブシステム〉

(億円・各期の数値は累計)



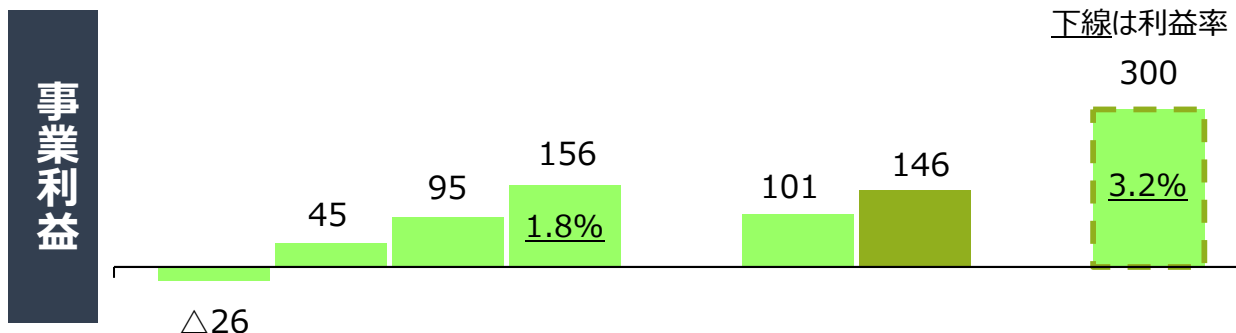
(主な事業の受注)

	FY20-2Q	FY21-2Q
物流機器	1,846	2,146
エンジン・ターボチャージャ	1,017	1,180
冷熱・カーエアコン	1,184	1,376



(主な事業の売上)

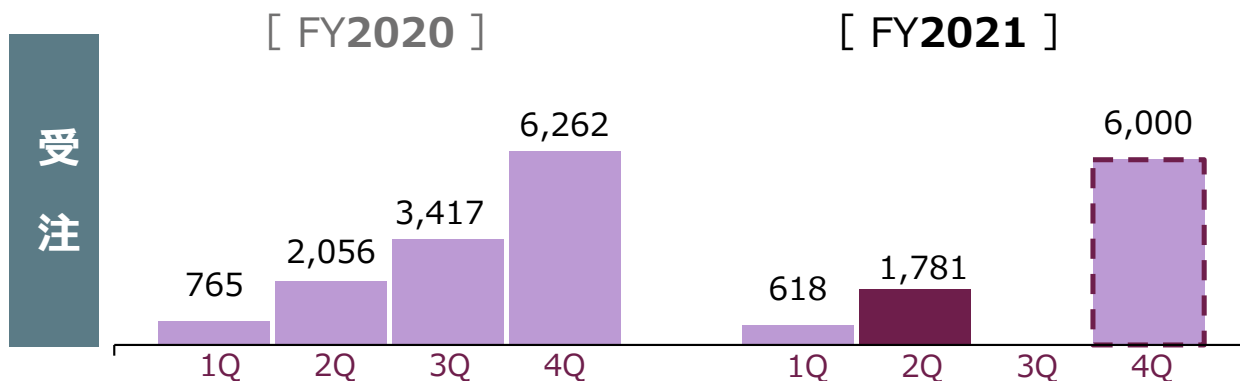
	FY20-2Q	FY21-2Q
物流機器	1,846	2,146
エンジン・ターボチャージャ	1,024	1,140
冷熱・カーエアコン	1,109	1,299



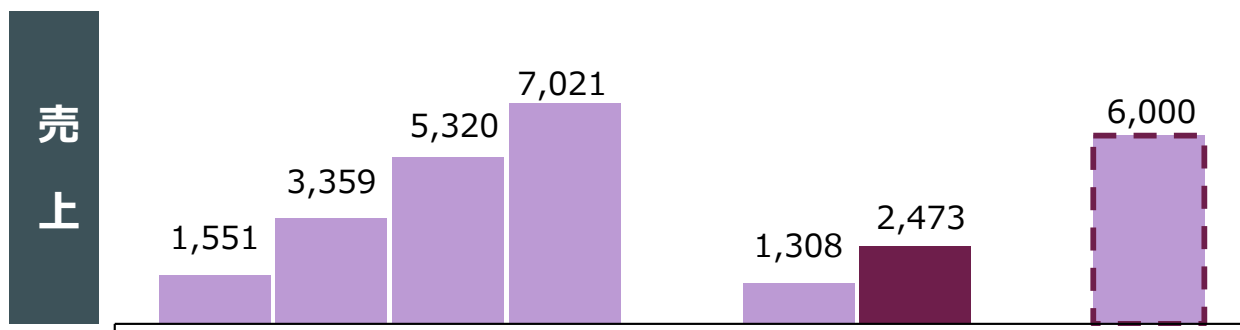
- 市況は全般的に回復傾向にあるが、自動車メーカーの生産調整や半導体不足の影響を受け、2Qの売上は1Qと比較して伸び悩んだ。
- 材料費・輸送費の高騰や半導体不足の減益影響があるものの、売価アップ等でカバー。

# 補足資料 第2四半期決算実績〈航空・防衛・宇宙〉

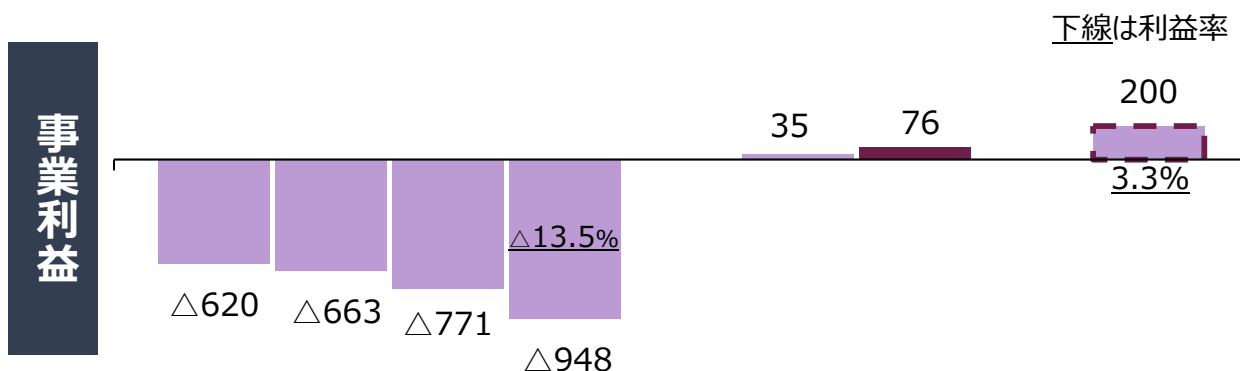
(億円・各期の数値は累計)



	FY20-2Q	FY21-2Q
防衛・宇宙	1,327	1,207
民間機	729	574



	FY20-2Q	FY21-2Q
防衛・宇宙	2,509	1,900
民間機	849	573



- 民間航空機のTier1事業は、Boeing減産の影響により減収。
- セグメント全体では、固定費削減他コストダウン施策の効果により、前年同期比増益かつ黒字。

## ガスタービン 受注台数・契約残台数

大型	FY20 2Q	FY20 通期	FY21 2Q
米州	-	4	-
アジア	2	4	2
EMEA	3	3	-
その他	-	2	2
合計	5	13	4
契約残台数	45	48	46

中小型	FY20 2Q	FY20 通期	FY21 2Q
米州	-	6	-
アジア	-	-	1
EMEA	-	-	-
その他	-	-	-
合計	0	6	1
契約残台数	13	5	6

## 民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	3	10	7	4	24
FY2021	5	4	/	/	/

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	3	3	0	1	7
FY2021	2	1	/	/	/

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	18	32	20	14	84
FY2021	14	5	/	/	/



## 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)

	FY20-2Q	FY21-2Q	FY21見通し
研究開発費	595	509	1,300
減価償却費	690	647	1,300
設備投資	578	565	1,200

## 販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	FY20-2Q	FY21-2Q
販管費	2,575	2,668

## 為替レート (売上計上平均レート)

	FY20-2Q	FY21-2Q
USドル (円/USドル)	107.1	109.1
ユーロ (円/ユーロ)	121.1	130.0

**MOVE THE WORLD FORWARD**

**MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP**